

第36回関西障がい学生支援担当者懇談会（2026年3月5日開催）

【アンケート集計結果】

1～4はKSSK開催前の申込時にアンケートを実施（出席人数59名※うち分科会出席者59名）、5～11はKSSK開催後にアンケートを実施（回答人数45名。※回収率76.4%）
 情報交換会参加者22名（うち設問8の回答者18名※回収率81.8%）

1-1 所属大学

大学コンソーシアム京都加盟大学

大学名	人数
京都大学	1
京都文教大学	1
京都外国語大学	2
京都橘大学	1
京都芸術大学	1
京都産業大学	2
京都精華大学	3
京都先端科学大学	2
同志社大学	4
大谷大学	2
佛教大学	3
合計	22

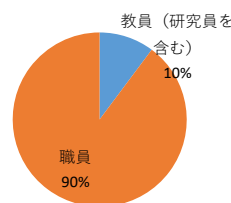
大学コンソーシアム京都非加盟大学

大学名	人数
関西医科大学	1
関西学院大学	2
関西大学	1
関西福祉科学大学・関西女子短期大学	1
近畿大学	1
四天王寺大学	1
神戸女子大学	2
神戸大学	1
摂南大学	1
大阪経済大学	1
大阪公立大学	2
大阪産業大学	1
大阪大学	1
大阪電気通信大学	1
大手前大学	2
長浜バイオ大学	1
追手門学院大学	1
桃山学院大学	6
奈良女子大学	2
武庫川女子大学	2
福岡大学	3
名古屋経済大学	1
和歌山大学	2
合計	37

1-2 区分

No	選択肢	人数	%
1	教員（研究員を含む）	6	10.2
2	職員	53	89.8
	合計	59	100.0

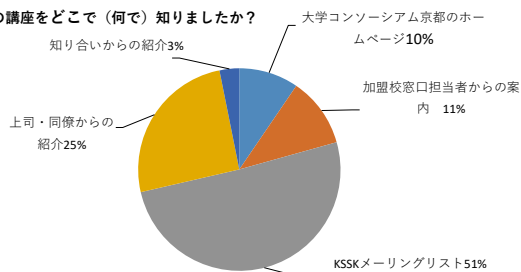
1-2 区分



2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？（複数回答可）

No	選択肢	人数	%
1	大学コンソーシアム京都のホームページ	6	9.5
2	加盟校窓口担当者からの案内	7	11.1
3	KSSKメーリングリスト	32	50.8
4	上司・同僚からの紹介	16	25.4
5	知り合いからの紹介	2	3.2
6	その他	0	0.0
	合計	63	100.0

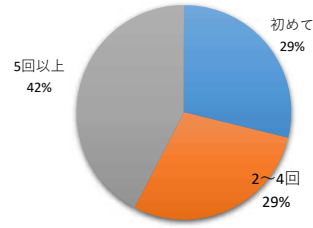
2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？



3. KSSKは何回目の参加でしたか？

No	選択肢	人数	%
1	初めて	17	28.8
2	2～4回	17	28.8
3	5回以上	25	42.4
合計		59	100.0

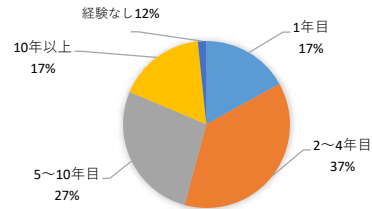
3.KSSKは何回目の参加でしたか？



4. 障がい学生支援に関する業務経験は何年目ですか？

No	選択肢	人数	%
1	1年目	10	16.9
2	2～4年	22	37.3
3	5～10年未満	16	27.1
4	10年以上	10	16.9
5	経験なし	1	1.7
合計		59	100.0

4.障がい学生支援に関する業務は何年目ですか？

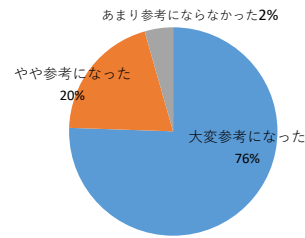


5. 話題提供について

5-1 話題提供は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	34	75.6
2	やや参考になった	9	20.0
3	どちらでもない	2	4.4
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
合計		45	100.0

5-1 話題提供は参考になりましたか？



5-2 上記5-1の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

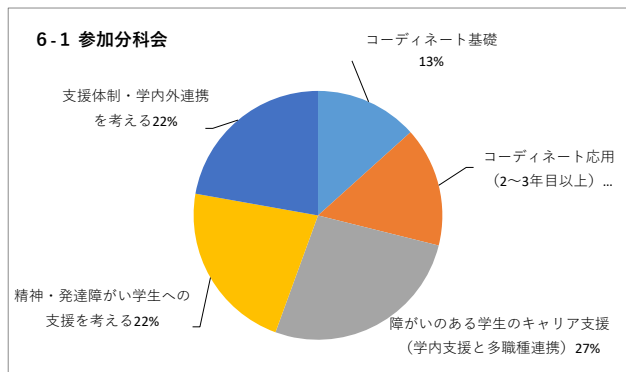
No	回答内容	理由
1	大変参考になった	2年間でそこまでやれるんだ、と感激しました。どうしてそこまでやれたのか、学内で反対勢力はなかったのかなど、さらにきいてみたいことが浮かんできました。
2	大変参考になった	オンライン授業の実情など大変参考になった。
3	大変参考になった	コーディネーター2年目とおっしゃっていましたが、これまでの取り組みと現状課題、今後の展望をわかりやすくご説明いただき、本学も支援体制を再構築中なので、励みになりました。
4	大変参考になった	これからの業務の参考になりました。
5	大変参考になった	学生支援センター内に3つの相談場所があるという体制について参考になりました。
6	大変参考になった	学部・学科との連携についての実践（差別解消の監督責任者は学科長、配慮依頼文書に学科長の監督者サインなど）が参考になったため
7	大変参考になった	具体的だった。
8	大変参考になった	自大学と似た状況も多く、改めて自大学の課題を確認できました。また、体制整備の過程もお話いただき、自大学の取り組みの参考になりました。
9	大変参考になった	自大学の悩みは他大学も同様に問題視していることが確認できた。またヒントを得ることもできた。
10	大変参考になった	室を立ち上げてから日が浅いということで、今年立ち上げた本学としては非常に共感出来ました。小川さんの様々な思いを伺い、これからの支援への取り組み方など参考にさせていただきたいと思いました。
11	大変参考になった	実習の多い大学事例が聞けたから
12	大変参考になった	状況や課題を具体的にお聞きできたため
13	大変参考になった	他大学の支援の在り方が把握できるからです
14	大変参考になった	他大学の取り組みの様子を知ることができた。
15	大変参考になった	他大学の取り組みを参考にさせていただきたいため
16	大変参考になった	他大学の取り組みを知ることができたから
17	大変参考になった	他大学の状況を知ることができた
18	大変参考になった	他大学の様子を伺い、今後の本学の支援体制などの参考になった

No	回答内容	理由
19	大変参考になった	他大学も同じ状況だとわかったから
20	大変参考になった	体制や支援を短期間で整備し、推し進めている様子を知り、本学においてもまだまだできることはあると思えたため
21	大変参考になった	丁度本学でも取り組もうとしている同意書のことなど、共感して聞くことができた。先生方の良く言えば「手厚い」しかしながら囲い込むような支援…については、本学でも悩ましく思う場面がある。これからの合理的配慮における支援部署での難しさというものが、こうやって分かっていくのだなと感じられた。
22	大変参考になった	特に2024年に取り組みだしていた学生サポーターやピアサポーターの養成は、当学でも今後検討しなければならないことであり（一部ノートテイクは学生にお願いしている）、学生同士のサポート体制が必要だと考えています。また教員サイドの配慮の線引き（どこまでやるか）も同じよ
23	大変参考になった	日頃の業務で他大学の取り組みを聞くことができることは少ない。日々の業務に活かすことができそうだと感じたから。
24	大変参考になった	普段、他大学の状況を知る機会がないため。
25	大変参考になった	本学でも今後解決していかなければならない事項が含まれていたため。
26	大変参考になった	様々な立場の方とディスカッション、情報交換ができるため。
27	大変参考になった	臨床心理をバックグラウンドとする同じ職種の方が、どのように組織の要望や自身の役割を的確に把握しシステムを構築されているかが分かりました。加えて、組織構築をしながらも、1人1人の学生との面談を大切にされている姿勢に大変勇気づけられました。
28	やや参考になった	環境整備の大切さについて改めて気づくことができました。
29	やや参考になった	規模感異なる大学の話ではあったが、3部署が合体して立ち上げられたセンターとしての機能のお話が聞けたのは大変参考になりました。講話のなかで話があった、どこまでが合理的配慮の範囲なのかという課題について、個別のアセスメントを丁寧に行っていたという話をお聞きして、体力は必要となってくるが、コーディネーターとして必要な業務をされている話をお聞きして、改めて私もその視点を大切に学生支援を行っていきたいと思いました。
30	やや参考になった	取り組みの流れがわかった
31	やや参考になった	他大学の現状をお聞きできたため
32	やや参考になった	体制整備に着手した私立大学の現状を知ることができた
33	やや参考になった	大学の風土を変え新たな仕組みを構築するためには、環境整備と教員・各所管との連携・調整に大きなエネルギーが必要ですが、平等な学びと合理的配慮の本質という視点に立ちながら、学生と教員の距離感が近い利点を生かし、丁寧に配慮提供へのプロセスを踏み個々のニーズに沿った支援につなげていると感じました。

6. 分科会について

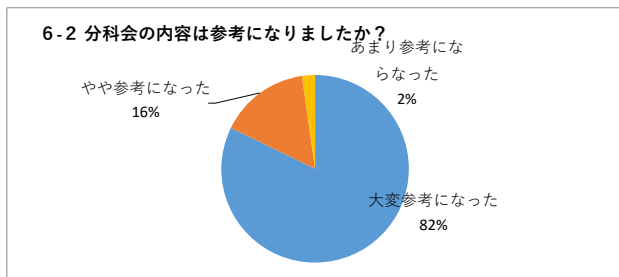
6-1 参加分科会（受付名簿より算出）

No	選択肢	人数	%
1	コーディネート基礎	6	13.3
2	コーディネート応用（2～3年目以上）	7	15.6
3	障がいのある学生のキャリア支援（学内支援と多職種連携）	12	26.7
4	精神・発達障がい学生への支援を考える	10	22.2
5	支援体制・学内外連携を考える	10	22.2
合計		45	100.0



6-2 分科会の内容は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	37	82.2
2	やや参考になった	7	15.6
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり参考にならなかった	1	2.2
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
合計		45	100.0



6-3 上記6-2の回答を選択された理由をご記入ください。

◆『A コーディネート基礎』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	情報を得ることができたから
2	大変参考になった	新任の方の困りごと、自己研鑽の方法など共有できたことが大変参考になった
3	大変参考になった	他大学の支援について知ることができた。
4	大変参考になった	本学の課題について、代替案や運用方法を再確認できた。
5	やや参考になった	合理的配慮について、具体的にどのように伝えているか、もう少し踏み込んで話ができればと思いました。話題提供や論点の整理など、全体的に運営はとてもよく、話し合いは充実していたと思います。

◆『B コーディネート応用（2～3年目以上）』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	各大学で直面している共通の課題を共有し、同じ認識の中で対応策などをディスカッションできたことが大変充実し、とても勉強になりました。ありがとうございます。
2	大変参考になった	具体的な事例と、それぞれの大学から対応した具体的な内容をきくことができ、今後の対応への参考になりました。ありがとうございます。
3	大変参考になった	他大学の事例などお話を伺って大変勉強になりました。自分の勤務する大学の問題についても皆様で意見交換していただき大変参考になりました。「紛争」のための構えは本学には、まだ無いため、そのテーマについてはもう少しお聞きしたかったです。
4	大変参考になった	他大学の事例を知れたから
5	大変参考になった	豊富な経験から様々な対応事例をお聞きできたから
6	大変参考になった	様々な事例を聞くことができた。

◆『C 障がいのある学生のキャリア支援（学内支援と多職種連携）』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	いい事例は取り入れたいと思ったため
2	大変参考になった	キャリア支援の現状を知ることができました。
3	大変参考になった	コーディネーターやキャリアセンター職員など、多種多様な役割の取組みを伺えたため
4	大変参考になった	参考になる各大学での実践について学ぶことができたため
5	大変参考になった	自大学の悩みは他大学も同様に問題視していることが確認できた。またヒントを得ることもできた。
6	大変参考になった	大学ごとの組織建てや支援者の状況は異なりますが、「やれることをやる」という点と、学内の理解、学外への協力が、今後の課題であることも同じだと思いました。特に学外のリソースの利用というのは、中々難しいことですが、学外連携とみんなで支援という体制づくりが、結果学生にとって良い道筋を提案できると改めて思いました。今後も他大学との情報共有をさせていただきたいと痛感しております。
7	大変参考になった	大学の規模や支援の土壌は異なるが、障害学生のキャリア支援の課題に対して、積極的に新しい試みや介入をしていることを知ることができたため
8	やや参考になった	各大学の事例を聞くことができた。
9	やや参考になった	視覚障害と重度肢体不自由学生の支援情報を聞けたらと思いましたが、そこまで至らずでした。
10	やや参考になった	他大学の取り組みを知ることができた。 自分の中のもやもやの存在が明確になった。

◆『D 精神・発達障がい学生への支援を考える』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	それぞれの大学の実際を具体的に聞くことができとても参考になりました。精神疾患については、やはり合理的配慮のみでなく障害学生支援という大きな枠組みの中で支援を考えていくことが大切だと改めて考える機会になりました。
2	大変参考になった	自身か抱える課題と分科会に参加されているメンバーの方々との悩みポイントが近く、共感できることが多かった。
3	大変参考になった	他学での取り組みや工夫など参考になりました。また私一人じゃないんだという前向きな気持ちにもなれました。何よりも楽しく過ごせたことが一番よかったです。
4	大変参考になった	他大学の様々な事例や対応を知ることで視野が広がり、日々の対応について客観的に確認する機会となりました。また休憩時間のお話からも参加者の皆さんが熱意をもって取り組まれている姿勢が伝わり、刺激を受けました。
5	大変参考になった	配慮（今回のテーマは出席配慮・オンライン受講等）提供の妥当性を判断する過程で、学生との対話、体調や状況の客観的な把握、また教員・各所管との折衝調整等の様々なステップを踏みながら、高等教育の本質からブレることなく、学生にとって今が必要かを見極め、学生自らが大学での学びに近づくことのできる支援に取り組まれていると感じました。
4	大変参考になった	様々な大学の支援について現状や取り組みを聞くことができ、とても参考になりました。
5	大変参考になった	立場の異なる教職員間での情報共有、意見交換ができたため

◆『E 支援体制・学内外連携を考える』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	各大学で対応されている事例が、それなりの難度があり、個人・組織・組織外との連携のそれぞれのレベルで工夫をされていると感じたから。
2	大変参考になった	困り事をざっくばらんに共有し、各大学の対応やアドバイスをいただけて、今後の参加になりました。
3	大変参考になった	自身、自大学にない発想の事例を知ることができた
4	大変参考になった	自分よりも経験が長い方々と色々な話題に触れることができたため。
5	大変参考になった	生々しい体幹が聞けたし、考え方の参考になった
6	大変参考になった	体制整備に関して、ざっくばらんに話げできた。困難を感じる部分が共通するものが多いような印象を受けた。
7	大変参考になった	様々な方の意見が聞けた、学校の体制として、配慮の出し方を事務からと学生からの二通りのルートがある、と聞いた際には、なるほどと思わされた。本学からの導入も考えてみたい。

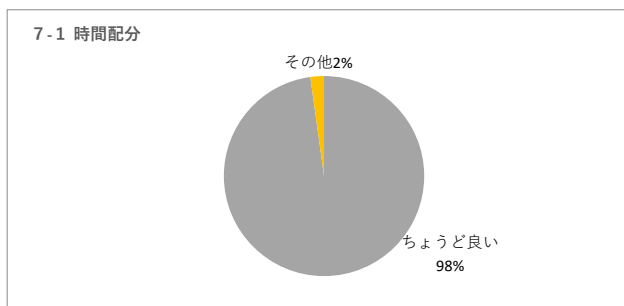
7. 懇談会全体について

7-1 時間配分

No	選択肢	人数	%
1	長い	0	0.0
2	短い	0	0.0
3	ちょうど良い	44	97.8
4	その他	1	2.2
5	無回答	0	0.0
		合計	45
			100.0

※

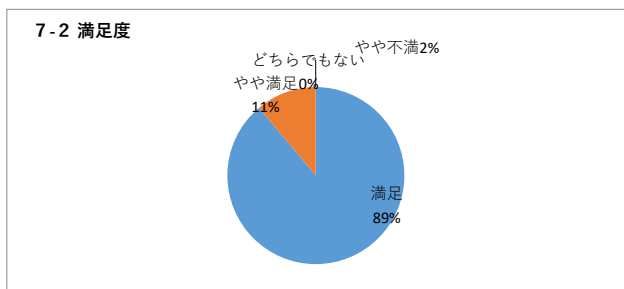
7-1 時間配分



7-2 満足度

No	選択肢	人数	%
1	満足	40	88.9
2	やや満足	5	11.1
3	どちらでもない	0	0.0
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
		合計	45
			100.0

7-2 満足度

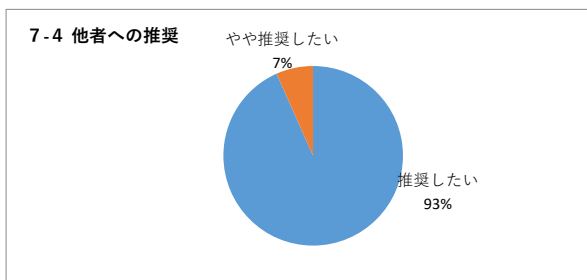


7-3 上記7-2の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	満足	日々の業務で悩む中、同じ業務を行う者同士でざっくばらんにお話しできる機会は大変有り難く、大変参考になりました。
2	満足	さまざまな立場の職員が集まり、具体的な取り組みや対応をシェアできる機会のため、自身の現在地を見つめ直し課題に取り組む原動力となるため
3	満足	それぞれの大学で各担当が学生のために動いていることが時間でき、明日から私もまた頑張ろうと思えました。
4	満足	どの分科会も興味のある内容で、最後のまとめの発表を聞くと「次はこのテーマの分科会に参加したいな。」という気持ちになります。参加校の方々と意見交換できることが、自身の支援の幅を広げていると毎回感じております。KSSK後のつながりもいくつかの大学のコーディネーターの方々とあり、仕事上マイノリティになりつつある自分を支えてくれていてと感じております。この仕事が1年目だった時に私にKSSKを紹介して下さったD女子大のコーディネーターさんには唯々感謝しております。
5	満足	意見交換ができることで仕事の参考になる
6	満足	一人で参加するので不安でしたが、仲間感が伝わってきて、気付いたら不安が吹き飛んでいました。たくさんの方とお話でき、元気になれました。
7	満足	共感や、ちょうど欲しかった！この大学の支援部署の人とつながってみたいかった！という所でありがたい体験となった。
8	満足	経験者が多い一方で、ゆるい雰囲気もあり懇談しやすかったから
9	満足	肩肘を張らずに色々な話をできる環境がとてもいいなと思いました。福岡でもぜひこのような繋がりをつくってほしいなと思いました。
10	満足	懇談会という形が様々なご意見を聞くことが出来てよと思った
11	満足	座長の土橋様、村田先生をはじめ、この分野に携わっている年月に関係なく誰もが参加しやすい暖かい場を造ってくださり、またそれを継続されていることが大変ありがたいです。
12	満足	参加者のペースの違いがあっても理解しやすい内容で勉強になりました
13	満足	初めての参加で緊張していましたが、温かく迎えてくださり、時間があっという間に過ぎました。
14	満足	初めて参加された方から、次回も参加したいとおっしゃる懇談会だったから
15	満足	新たな仲間存在に刺激された。自分の現在地を確認できた。
16	満足	相談しやすい環境で、現場の生の意見を伺うことができ、参考になります。
17	満足	他の分科会の話し合いの内容も知ることができた。
18	満足	他大学の取り組みや参加者の方々の専門性や考えを知ることで、自大学の現状についてあらためて考えたり、新たな気づきにつながりました。
19	満足	同じ業務を担う方々と顔をつき合わせて話をできる機会は貴重だと感じた。
20	満足	日々のもやもやが整理された感じがしました。
21	満足	年に1度程度しか参加が叶いませんが、他大学の情報を目にするだけで、当学の状況確認も出来ますし、課題のヒントになります。対面でお話し出来ることが、本当にありがたいです。
22	満足	敷居が低く、皆良い方ばかり
23	満足	分科会で率直に懇談することができた
24	満足	片ひじはらずにお話できるところ
25	満足	勉強になる
26	満足	話題提供および分科会では毎回新しい情報をいただけます。各大学のナマの状況を伺えますのでいつも勉強になります。ありがとうございました。
27	やや満足	関西圏の比較的近い大学と繋がりが持てるのが、一番のメリットだと感じています。 全体会のまとめで、「普段は大学内でマイノリティの立場で、孤独感もある仕事だが…」とおっしゃっていたことが響きました。確かに普通の大学内の業務では、少数派で精神的な体力も使う仕事ですが、KSSKで繋がった他大学のコーディネーターさんと繋がれることで、他大学でも同じように頑張っておられる支援者の方がいるということを知れることで、切磋琢磨して頑張ろうという気持ちになることができます。
28	やや満足	参加した分科会以外の会の内容についても聞くことができ、支援について改めて考える機会となりました。

7-4 他者への推奨

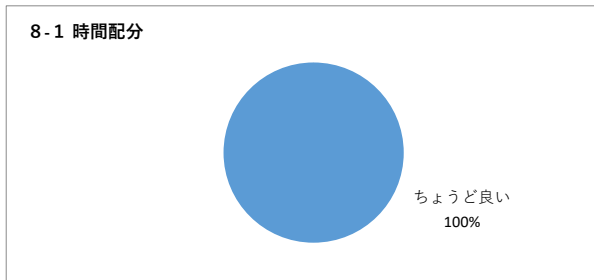
	選択肢	人数	%
1	推奨したい	42	93.3
2	やや推奨したい	3	6.7
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり推奨したくない	0	0.0
5	推奨したくない	0	0.0
	合計	45	100.0



8. 情報交換会について

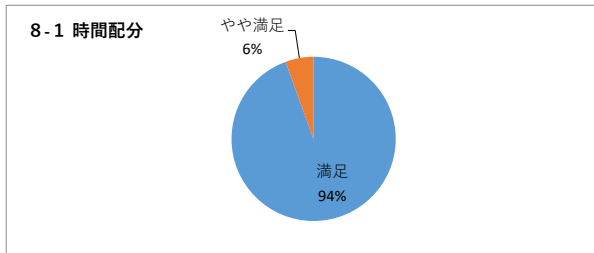
8-1 時間配分

No	選択肢	人数	%
1	長い	0	0.0
2	短い	0	0.0
3	ちょうど良い	18	100.0
4	その他	0	0.0
5	無回答	0	0.0
合計		18	100.0



8-2 満足度

No	選択肢	人数	%
1	満足	17	94.4
2	やや満足	1	5.6
3	どちらでもない	0	0.0
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
合計		18	100.0



8-3 上記8-2の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	満足	だれもが楽しい内容だったから
2	満足	なごやかで楽しい場だったから
3	満足	皆さん気軽に情報交換できました。 とても楽しかったです。
4	満足	活発に情報交換できたため。
5	満足	気軽な感じが良かったです。
6	満足	堅苦しくない会での意見交換も有益である
7	満足	今年度は一人での参加ではあったが、参加しやすい雰囲気であったため、他大学のコーディネーターさんとも繋がることができ大変実りのあった時間でした。今後の業務に繋がる機会となりました。
8	満足	参加者の方々と踏み込んだお話ができた。非常に有意義な時間だった。
9	満足	情報交換会でもみなさんと交流できとても楽しい時間を過ごすことができました。お酒と食事を囲みながらの交流でより打ち解けることができ、普段も色々なコミュニケーションをとりやすくなるだろうなと思いました。食事や飲み物などご準備いただき、ありがとうございました。
10	満足	新たな出会いがあった。楽しい企画など、雰囲気がとてもよかったです。
11	満足	分科会で話せなかった方とお話しすることができました。
12	満足	分科会で話せなかった方も交流できて、とても有意義でした。同郷の福大の方ともお会いできて、嬉しく思いました。
13	満足	分科会などの様なテーマに沿った話題とはまた違って、色々な話題のお話もできて、良い機会になりました。
14	満足	様々配慮をいただき、皆さんとの距離が更に縮まりました。
15	やや満足	より多くの皆様のご参加があるといいなと思いました

9. 今後、懇談会で取り上げてほしいテーマ、内容等があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	「軽度の知的」がある学生への合理的配慮や面談についてどのように皆さんされているか情報交換の場が欲しいです。
2	「建設的対話」の難しさを感じています。他の方の悩みや工夫をお聞きしたいです。
3	ATに関すること
4	キャリア・就職支援担当者による事例紹介
5	グレーゾーンの学生への対応や、卒業後の進路支援について
6	ゲームなどを行うのはほぐれていいと思った
7	コーディネータ応用編の事例検討、キャリア支援の具体的な取り組み
8	サポート学生の養成、ATの活用について
9	セルフアドボカシーと合理的配慮
10	テーマではないですが、現場の自分が話しやすい空気感のある場
11	教員への合理的配慮の理解促進方法
12	高校との連携/ 同意書や学生への説明理解に関して
13	合理的配慮に関連しての保護者対応
14	今回も話しが尽きませんでした。就労支援と学外の支援機関連携について。
15	困難事例のケース検討
16	事前的改善措置の工夫・予算の取り方
17	実験や実習への合理的配慮、学内での食事やトイレ介助のこと
18	性別違和への対応（通称名許可など）
19	精神・発達学生への支援
20	配慮依頼書における工夫
21	発達障害のある学生の学生生活支援全般について学んでみたい
22	発達特性のある学生の学習支援について
23	保護者との関わり方

10. 懇談会の改善点があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	参加しやすい開催時期だとありがたく、またもう一回開催があれば、学内でも案内しやすいです。

11. その他、懇談会へのご意見・要望等があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	いつもありがとうございます。
2	会場が分科会も含めて寒かったです。
3	開催情報をWeb掲示される際（いつ頃のアップ）の情報をいただけるとありがたいです。
4	幹事のみなさま、コンソのみなさま、ご準備ありがとうございました。
5	幹事の皆さま、コンソーシアムのご担当者様、ありがとうございました。
6	幹事の皆様、事務局の皆様いつもありがとうございます
7	個人情報の問題で難しいかもしれませんが、自分が参加できなかった他の分科会で話し合われた内容について、最後の5分ほどの発表だけでなく、もう少し詳しく聞ける機会（文書でもよいのですが）があればと思いました。
8	素晴らしい会の運営に感謝いたします
9	毎回楽しく参加させていただいています。今回は分科会で同じグループに九州の大学が参加されていて、今後も地域を広げて多くの大学と情報共有出来ればと思いました。